

# 2024年度 補助事業の考え方について（抜粋）

公益財団法人 JKA

# 2024年度補助事業の考え方について

## **(1) 全体共通**

- ① オリ・パラリンピック、アジア競技大会に関する事業
  - ・2024年のパリオリ・パラリンピックに向けた支援を継続して行う
  - ・愛知・名古屋2026アジア競技大会への支援を行う
  
- ② 下記のメニューに関しては、通常の7月～9月の募集期間よりも長い7月～12月の募集期間を設け、より多くの事業者からの募集を募る
  - 機械：福祉機器の整備
  - 公益：福祉車両の整備、検診車の整備
  - ※車両については種類の拡大も検討
  
- ③ 各メニューの上限金額、補助率の引き上げを検討する

# 2024年度補助事業の考え方について

## (2) 機械振興補助事業

- ① 福祉機器の整備への要望が毎年増加傾向にあるため、介護職員の負担を軽減する介護ロボット・見守り支援センサー等への支援を強化
- ② SDGsやカーボンニュートラル、DXやその周辺領域における機械産業への支援を引き続き行う
- ③ 昨年度に引き続き、2025年日本国際博覧会に関する事業への支援を行う

# 2024年度補助事業の考え方について

## (3) 公益事業振興補助事業

- ① 検診車の最新の検査機器を最小限にした形で整備できる「載せ替え」を追加する  
・昨今問題になっている日野自動車の生産中止の影響も含めた対応が可能
- ② 社会的弱者が幸せに暮らせる社会を実現するため障がいの種類に適した就労支援機器の支援を引き続き行う
- ③ 「子どもの居場所」づくりなど、子どもの貧困やいじめ問題、ヤングケアラーなどに関する支援を継続・拡大する  
・未利用食品を活用した子ども食堂など貧困層への支援を引き続き行う